



Subaru

男声合唱団

ニュース№.449 '14. 2. 12

歌い込みも佳境にはいってきました

2月7日

□2月7日(金)の定例レッスンは、奥村さんの体操と千秋さんのヴォイストレーニングに始まり、本並先生指揮、静さんピアノで、「あゝ夜よ」、「昂」、指揮が伊藤さんに代って、「放射能」、「街を返せ」と「母なるヴォルガを下りて」、また、本並先生で「美しく碧きドナウ」をレッスンしました。参加は全31名でした。



□歌い込みも佳境に入ってきました。**2月中に暗譜**することを申し合わせました。

2月7日

9thコンサート「入場券拡大についてのアンケート」配られる

□コンサート当日まで2か月となりアンケート前のチケット拡大状況は、目標1100に対し、2月2日現在、入金+確約で182枚と、まだ16.5パーセントの状況であることを背景に、団員に今後の拡大目標を問うアンケート用紙が配られました。提出は2月16日(日)の定例レッスンまでをお願いします。

昂9THコンサート拡大状況

□ 目標	1100枚
□ 入金	186枚(2/7現在)
□ 確約	87枚※
□ 計	273枚 ①

※確約枚数も山本さんまで届けて下さい。

アンケート結果(中間報告・回収 45%)

□ 今後の入金	277枚(2/7現在)
□ 今後の確約	65枚※
□ 今後の計	342枚 ②
□ 見通し合計	615枚 ①+②

□藤後名誉団長が、入金・確約実績でも今後の目標でも大きな数字を達成・申告して貢献されていますが、次のページに紹介します「藤後通信」を発行して拡大に努められています。皆さんも参考にして下さい。

藤後通信

富田林市山中田町 1-13-30

0721-25-3482

hiromitogo@ever.ocn.ne.jp

2014年2月

男声合唱団 昴

第9回

お誘い

小生4月で85歳、まだまだ
元気で歌っています。

コンサート への

いつも、大変お世話になっています。改めて厚くお礼申し上げます。

早いもので、男声合唱団「昴」を立ち上げてこの4月で13年になります。私のそもそもの「昴」立ち上げの原点は、敗戦直後にかつての満洲で15歳のときに学生だった私が、日本の軍人に間違えられてソ連軍の捕虜収容所に抑留されたときに、そこで生まれてはじめてソ連軍兵士たちのすばらしいハーモニの情緒たっぷりで、荘厳すら感じさせるロシアの歌でした。

その合唱は、敗戦のショックで虚無状態に陥っていた当時の私の心を和ませ、生きる希望と勇気を与え、戦争のない平和の尊さを思い知らされました。そして、歌好きだった私はもしも生きながらえて無事に祖国に帰還でたら、再び戦争を起こしてはならない思いと平和の願いを込めて心通う男性たちと、ぜひとも歌ってみたい衝動に駆られました。

今、その思いがかなえられたことに幸せに思っています。

この13年間、私たちは歌うことの大切さと喜びを肌で感じ、遅々とした歩みながらもより高い目標をめざしてここまで来れたことを素直にうれしく思い、このコンサートで、日頃の練習の成果を出しきって演奏しようと同張り切っております。そのエネルギーが少しでもみなさんに伝われば幸いです。一人でも多くの方のご来場を心から願っています。

○同封させて頂きましたチケットは金券ではなく、返却の必要はありません。

○コンサートに来て頂ける場合は、同封の「ゆうちょ銀行払込取扱票」、または「精算袋」をご利用いただければ助かります。よろしくお願ひします。

○座席は「全自由席」です。